

## 一佐鳴台が浜松市総合防災訓練モデル地区に！一

8月29日(日)8時から佐鳴台中学校を会場としてH22年度浜松市総合防災訓練が大々的に開催されました。これは、佐鳴台が本年度の市防災訓練のモデル地区に選ばれたため、佐鳴台地区自主防災隊連合会のほか、市消防団の中区支団、市社会福祉協議会、陸上自衛隊、市上下水道部、ほか多くの団体の参加を得て行われました。佐鳴台中学校のグラウンドには、早朝から佐鳴台各町の住民や中学生の多数(約400名)が集まり、猛暑の中でしたが各種の訓練に熱心に参加しました。これからも地区内で開催される防災訓練には皆で参加しましょう！



朝礼での注意事項発表後、テントに集う大勢の参加者



煙発生を体験



地震体験車で強度の震れを体験



ガス管復旧実演(中部ガス)



消防車両の展示



給水車(炊き出し用)



炊き出し体験



Water Pack 車から真水がパック詰めされて出てくる





簡易ジャッキで持ち上げ



人命救助（中学生の体験と自衛隊員のデモ演）



陸上自衛隊の  
災害救助用の  
機材は珍しい  
物ばかり



新聞紙でスリッパ作り



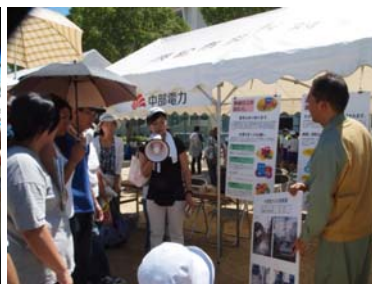
消火器の扱い方実習



猛暑の中で放水訓練



NTT 担当者から利用法  
を聞く外国人グループ



外国人グループへの  
通訳をする飯川ミエ  
コさん（中央）



訓練の講評をする中桑  
自主防災隊連合会長  
（11時半に終了）